

助動詞「まじ」確認テスト（打消推量ほか） | 定期テスト対策 | 誰でも古典塾 解答・解説

問1 打消意志。「(約束を) 破るまい」と、話し手自身の意志を打ち消している。下に「か」があり、相手に意志を問う形になっている点もヒント。

問2 連体形。すぐ下に係助詞(疑問)の「か」が続いているため、「まじき」(連体形)になっている。

問3 「(あなたは) 約束を破らないだろうね(破るまいね。)」と訳す。「違ふ(たがふ)」は「(約束に) 背く・破る」の意。

問4 打消推量。「まさか生きてはいないだろう」と、ある事柄をおしはかって打ち消している。

問5 「まさか生きてはいないだろう。」 / 副詞「よも」は下に打消推量の「じ」「まじ」を伴って、「よも～まじ(じ)」で「まさか～ないだろう」という意味を作る。つまり「よも」は打消推量と呼応する。

問6 不可能。「(雨がひどいので) 外出できそうにない」と、できないことを推量している。

問7 「外出できそうにない(出ることはできまい。)」 / 副詞「え」は下に打消の語(ここでは「まじ」)を伴い、「え～まじ」で「～できない・～できそうにない」という不可能の意味を作る。

問8 不適當。「(子どもの前では) そういう事は言わないほうがよい」という、やわらかい禁止・忠告の意味。

問9 禁止。「武士たる者は、敵に背中を見せてはならない」と、強く禁止している。

問10 「羽がないので、空を飛ぶこともできない(飛べそうにない。)」 不可能の意味で訳す。

問11 「けれども・しかし」。逆接を表す接続語で、前の「仰せ言はかしこし(=ご命令はおそれ多い)」を受けて、「それでも参上できない」とつなぐ。

問12 禁止。「決して人に漏らしてはならない」と、相手の行為を強く禁止している。

問13 「決して人に漏らしてはならないぞ。」 「ゆめゆめ～まじ」で「決して～してはならない」という強い禁止を表す。

問14 「(その人は) よくないことをしでかしそうな人なので、(私は) 近づくまい。」 「まじ」を打消意志「～まい」で訳す。

問15 連用形。下に「候ふ(補助動詞・用言)」が続いているため、連用形「まじく」になっている。(連用形は下に用言・助動詞などが続くときに用いる。)

問16 已然形。文中の係助詞「こそ」を受けて、係り結びの法則により文末が已然形「まじけれ」で結ばれている。(已然形は、ほかに接続助詞「ば・ど・ども」が下に続くときにも現れる。)

問17 「べし」。「まじ」は推量の「べし」の打消にあたる助動詞である。

問18 まじく・まじく・まじ・まじき・まじけれ・○（命令形なし）。／形容詞の「シク活用」と同じ型。（このほかに補助活用「まじから・まじかり・○・まじかる・○・○」もある。）

問19 終止形。／ただし、ラ変動詞（あり・をり・はべり・いますがり）やラ変型に活用する語（形容詞・形容動詞・一部の助動詞など）に付くときは、連体形に接続する。

問20 「あり」はラ変動詞なので、「まじ」は終止形ではなく連体形に接続する。そのため終止形「あり」ではなく連体形「ある」に付いて「あるまじ／あるまじき」となる。

問21 例文⑭「人入るまじき所」の「まじき」＝連体形（下に体言「所」が続くため）、例文③「え出づまじ」の「まじ」＝終止形（言い切りの形）。

問22 「べし」が推量（～だろう）を表すのに対し、「まじ」はその打消、すなわち打消推量（～ないだろう）を表す。両者は意味の上で「肯定（べし）」と「打消（まじ）」の表裏の関係にある。（意志・当然・適当などの他の用法も、それぞれ「べし＝肯定／まじ＝打消」で対応する。）

問23 「禁止」は「～してはならない」と相手の行為を強く止める訳、「不適當」は「～ないほうがよい」とやわらかく勧める訳になる。／禁止の例…例文⑤「敵に後ろを見すまじ＝見せてはならない」や例文⑧「もらすまじき＝漏らしてはならない」。不適當の例…例文④「言ふまじ＝言わないほうがよい」。

問24 「じ」は動詞の未然形に接続する。／「まじ」が終止形接続（ラ変型は連体形接続）なのに対し、「じ」は未然形接続である点が大きく異なる。